

# もっと知ろう “陶”

## 8、陶の位置

陶は旧陶中学校の位置で東経 137 度 22 分、北緯 35 度 19 分の位置にあり日本のほぼ真ん中です。

日本には、日本のへそ（真ん中）を名乗る自治体が栃木県佐野市、兵庫県西脇町など数ヶ所数あります。岐阜県関市もその一つで、地理的要件に人口を加味した人口重心の位置にあたるということで「日本のへそ」を名乗っています。

陶もほぼ真ん中に位置します

ので「日本のへそ」を名乗ってもいいかもしれません。屁理屈は??いい案がありましたら連絡してください。

一方標高は、最も低い所が川折と大川の境で 270m です。大川交差点は 365m、吹越交差点は 515m です。そして、最も高い所が猿爪の高戸山（たこうどさん）で 648m、大川の浅間山は 610m です。高山市街地の標高が 570m です。陶の人が天気予報で高山を参考にするのも頷けます。また、美濃三河高原のほぼ頂きに位置します。各川は源流を町内に有し水は清らかです。（かつては陶で使う水道水は陶でまかなっていた。）

気候は、内陸性及び高地性の気候で気温の差が大きく、冬には最低温度-10 度以下になる日もしばしばあります。これは地勢の関係から冬期に降雪日が少なく、晴天が続き放射冷却により気温が下がるためであり、このことを利用して隣の山岡町では寒天づくりが行われているのです。

陶は、日本の真ん中に位置すること、源流を有する事、夏でも夜は涼しい事、冬の寒さなどを強みとして活かす工夫・考え方が求められています。

